

令和4年度 学校自己評価システムシート（埼玉県立春日部女子高等学校）

目指す学校像	高い志を持ち、夢をあきらめない生徒の育成を目指す、伝統ある女子の進学校
--------	-------------------------------------

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 主体的に学習に取り組み、自らの目標を達成できる生徒の育成 文武両道を目指し、何事にも全力投球する生徒の育成 ユネスコスクールの自覚と活動の下、開かれた学校づくりを進め、地域社会及び国際社会に貢献する生徒の育成
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価							学校関係者評価	
年度目標					3年度評価（月日現在）		実施日 令和年月日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業や面談を通じた学習意欲の喚起や進路意識の向上で、学習時間が増えており、国公立大学への合格者も増えている。 個人端末の持ち込みにより、探究活動などで活用している。 新学習指導要領による新教育課程の実施に向け、観点別学習状況評価規準を作成している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習時間は確保しているものの、学力の向上を感じられない生徒が多い。 国公立大学への進学も増える中、大学入試が多様化し、生徒一人一人の進路実現を支えるため、組織的な進路指導の推進が必要である。 ICTの効果的な活用を通じ、主体的な学びの実現や学力の向上を目指す必要がある。 観点別学習状況評価により生徒・教師双方の学習・授業改善のPDCAサイクルを確立する必要がある。 	<p>①組織的な授業改善及び学習意欲や学力向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 観点別学習状況評価による、授業改善のPDCAサイクルの確立 個人端末を活用した生徒の主体的な学びの実現 春女手帳、Classi、スタディサポート等の活用による自主的・計画的な学習を促す指導の充実 総合的な探究の時間を通じた探究的な学びの実践 大学等と連携したプログラムの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 学習量の増加と学力向上が見られたか。 生徒による授業評価が上がったか。(昨年度4.2点/5.0点) 学力向上に向けたICT活用研修、授業公開及び情報交換ができたか。 					
		<p>②第一志望の実現に向けた組織的な進路指導の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 進路指導部、学年の連携による進路行事等の充実 模試の分析会や出願指導検討会等による、二者面談・三者面談等での情報提供の充実 生徒の第一志望宣言による目標の明確化、高い進路目標の維持 進路集会や進路通信による進路情報発信の充実 進学補習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導や情報提供に対する満足度 個人面談の時期、内容並びに回数は適切であったか。 進学補習の実施状況 第一志望宣言をした大学への進学率 					
2	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍においても、部活動への高い加入率を維持している。 制限がある中でも学校行事に熱心に取り組む生徒が多く、学校生活の満足度が高い。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍においても部活動や学校行事をさらに充実し、生徒の達成感や連帯感などを醸成する必要がある。 立哨指導等により、外部からの苦情は減ってきているが、歩きスマホなどマナーの改善が必要である。 生徒の抱える課題が多様化、複雑化しており、教育相談体制の確立、関係機関や教職員間の連携が必要である。 	<p>①高雅な品格を持ち、主体的に活動する生徒の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 全校集会・学年集会等を通じた継続的な指導 部顧問同士による指導の実践例・成功事例の共有 部活動ガイドの活用によるきめ細かい指導 各行事における生徒の主体的な活動の支援 スマートフォンの利用や交通マナー等に関する指導 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動加入率を2回目の調査でマイナス5ポイント以内で維持できたか。 学校生活の高い満足度（本校に入学して良かった）を維持できたか。(昨年度93.6% 一昨年度92.2%) スマートフォンの利用に関する生徒のルール作成 					
		<p>②教育相談体制の充実と安心安全な環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人面談を通じた人間関係の構築 教育相談連絡会の定期的な実施 スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー、外部専門機関等との連携の強化 感染防止対策の徹底や安全点検等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 個人面談や教員間の情報共有により適切な支援につなげられたか。 保健だより等を通じて、生徒の行動変容を促し、健康維持につなげることができたか。 					
3	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者用ページの作成、中学生向けの学校説明会の動画配信など、ホームページの改善を行っている。 海外研修に替わる複数の国内プログラムを用意し、国際感覚を育成している。 オンラインの活用により、企業等と連携した幅広い探究活動を実施している。 令和4年度からユネスコスクールの候補校として活動を行う。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 土曜授業の廃止や行事の公開制限など、学校公開の機会が少ないため、本校の魅力発信していく必要がある。 現行の国際交流や探究活動に加え、ユネスコスクールの自覚と活動下、地域社会や国際貢献の意識を醸成する。 	<p>①本校教育活動の積極的な発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 分掌、学年、部活動による学校HP等を活用した積極的な情報発信 学校説明会、部活動体験会、個別相談の実施 学校説明会でのアンケートの実施 中学校への情報提供・資料送付・電話連絡等の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的なHPの更新や印刷物の配布による情報の発信ができたか。 学校説明会後のアンケート結果を次回以降の説明会実施に生かされたか。満足度が高かったか。 					
		<p>②家庭・地域・外部機関との連携による地域・社会に貢献する生徒の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> オンラインを併用したPTA・後援会等との連携 外部機関と連携した総合的な探究の時間の実施 エンパワーメントプログラムや普通科生徒対象のブリティッシュヒルズ研修の実施など、国際教育の充実 地域行事への積極的な参加の促進 外部コンテストへの参加 	<ul style="list-style-type: none"> PTA・後援会や外部機関との連携方法を工夫して効果的に連携できたか。 生徒が地域社会や国際社会に貢献する意識を持つことができたか。 地域行事や外部コンテスト等への参加状況 					